

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学品等の名称	作動油 4L 水-グリコール
製品コード	HL-EG
供給者の会社名	ユニカス工業株式会社
住所	〒708-1306 岡山県勝田郡奈義町西原455番地
電話番号	0868-36-3131
推奨用途	作動油
使用上の制限	推奨用途以外の用途に使用する場合、化学物質専門家等の判断を仰ぐこと

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体 区分に該当しない (区分外)

健康に対する有害性

急性毒性 (経口) 区分に該当しない (区分外)
急性毒性 (吸入: 粉じん、ミスト) 区分4
皮膚腐食性/刺激性 区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2 B
生殖毒性 区分1 B
特定標的臓器毒性 (単回ばく露) 区分1 (中枢神経、血液系、腎臓)
区分3 (気道刺激性、麻酔作用)

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期 (急性) 区分3
水生環境有害性 短期 (慢性) 区分3
※記載がないものは分類対象外または分類できない。

GHSラベル要素

絵表示 (ピクトグラム)

- 感嘆符
- 健康有害性



注意喚起語

危険有害性情報

危険

- H332 吸入すると有害
- H315 皮膚刺激
- H320 眼刺激
- H360 生殖能または胎児への悪影響のおそれ
- H362 搾乳中の子に害を及ぼすおそれ
- H370 中枢神経系、血液系、腎臓、呼吸器、心臓の障害
- H335 呼吸器への刺激のおそれ
- H336 眠気またはめまいのおそれ
- H372 長期にわたる、または反復ばく露による臓器 (中枢神経系、呼吸器、心臓) の障害
- H373 長期にわたる、または反復ばく露による臓器 (血液系) の障害のおそれ
- H402 水生生物に有害

注意書き

- P201 使用前に取扱説明書を入手すること。(16. その他の情報 備考2参照)
- P202 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- P264 取扱い後は手をよく洗うこと。
- P270 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- P271 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- P273 環境への放出を避けること。
- P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面/聴覚保護具等を着用すること。

安全データシート (SDS)

・P304+P340	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
・P312	気分が悪い時は医師に連絡すること。
・P302+P352	皮膚についた場合：多量の水で洗うこと。
・P332+P313	皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
・P362+P364	汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
・P305+P351+P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
・P337+P313	眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。
・P308+P313	ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
・P308+P311	ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師に連絡する事。
・P314	気分が悪い時は、医師の診察／手当てを受けること。
・P405	施設して保管すること。
・P501	内容物／容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

成分名	CAS No.	化審法 No.	安衛法	RPTR法 No.	含有量
エチレングリコール	107-21-1	(2)-230	75	非該当	35~40
防錆剤	非公開	未設定	未設定	非該当	2~5
水	7732-18-5	未設定	未設定	非該当	55~60
消泡剤	非公開	未設定	未設定	非該当	微量
染料	非公開	未設定	未設定	非該当	微量

化審法 No.

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）官報公示整理番号

安衛法

表示物質：施行令第18条 名称等を表示すべき有害物質

通知物質：法第57条の2、施行令第18条の2 別表第9 名称等を通知すべき有害物質

第2種有機溶剤・第3種有機溶剤：施行令別表第6の2・有機溶剤中毒予防規則

PRTR法 No.

特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR法）対象化学物質の政令番号

毒劇物該非

毒物劇物取締法：毒物及び劇物取締法の別表一（毒物）、別表二（劇物）、別表三（特定毒物）毒物及び劇物指定令の該当の可否

4. 応急措置

吸入した場合：

被災者を新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師の手当、診断を受けること。

皮膚に付着した場合：

多量の水と石鹼で、皮膚を速やかに洗浄すること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合：

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合：

口をすすぐこと。直ちに医師の手当、診断を受けること。

最も重要な急性および遅発症状/影響：

吸入した場合：咳、めまい、頭痛。

皮膚に付着した場合：皮膚の乾燥。

眼に入った場合：発赤、痛み。

飲み込んだ場合：腹痛、感覚鈍麻、吐き気、意識喪失、嘔吐。

応急措置をする者の保護：

救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項

有用な情報なし

安全データシート (SDS)

5. 火災時の措置

適切な消火剤：

粉末消火剤、耐アルコール性泡消火剤、二酸化炭素、砂、噴霧水

使ってはならない消火剤：

棒状注水

特有の危険有害性：

加熱により容器が爆発するおそれがある。

特有の消火方法：

危険でなければ火災区域から容器を移動する。人々を避難させ、火を隔離して関係者以外の立ち入りを禁止する。

火が消えて再発火の危険がなくなるまで、火に曝された容器および火災の影響を受けた領域を冷却する。

保護された場所から、あるいは十分に安全な距離から消火に当たる。

消火活動を行う者の保護：

消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。

関係者以外の立ち入りを禁止する。

作業者は適切な保護具（「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。

漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。

風上に留まる。低地から離れる。密閉された場所は換気する。

環境に対する注意事項：

河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。

環境中に放出してはならない。

封じ込め及び浄化方法及び機材：

少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。

危険でなければ漏れを止める。

すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。

二次災害の防止法：

有用な情報なし

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。

安全取扱い注意事項：

使用前に使用説明書を入手すること。

すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。

火気注意。

接触、吸入又は飲み込まないこと。

空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。

環境への放出を避けること。

接触回避：

『10. 安定性及び反応性』を参照。

衛生対策：

妊娠中及び授乳期中は接触を避けること。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。

取扱い後はよく手を洗う。

保管

安全な保管条件：

保管場所は屋根を不燃材料で作るとともに、金属板その他の軽量な不燃材料でふき、かつ天井を設けないこと。

保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造とすること。

保管場所の床は、危険物が浸透しない構造とするとともに、適切な傾斜をつけ、かつ、適切なためますを設けること。

保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。

酸化剤から離して保管する。

施錠して保管すること。

安全な容器包装材料：

製品容器に準じること。

安全データシート (SDS)

8. ばく露防止及び保護措置

成分許容濃度

成分名	許容濃度	指標	出典
エチレングリコール	100mg/m ³	TLV-STEL	ACGIH(2014年版)
防錆剤	未設定	—	—
水	未設定	—	—
消泡剤	未設定	—	—
染料	未設定	—	—

設備対策： この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
高熱工程でミストが発生するときは、空気汚染物質を管理濃度・許容濃度以下に保つために換気装置を設置する。

保護具：
呼吸器系保護具： 適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具： 必要に応じて適切な保護手袋を使用すること。
眼の保護具： 適切な眼の保護具（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）を着用すること。
皮膚及び身体の保護具： 必要に応じて適切な保護衣、保護面を使用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態： 物理状態： 液体
色： 緑色
臭い： 僅かな甘みのある臭い

融点・凝固点： 30v/v%： -14.5℃以下、50v/v%： -34.0℃以下
沸点又は初留点及び沸点範囲： 168℃
可燃性： 有り
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界： (エチレングリコール： 下限3.2vol%、上限15.3vol%)
引火点： 124℃
自然発火点： (エチレングリコール： 398℃)
分解温度： データなし
Ph： 8.8
動粘性率： データなし
溶解度： 水に混和
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)： (エチレングリコール： log Pow = -1.36)
蒸気圧： (エチレングリコール： 7Pa (20℃))
密度及び／又は相対密度： 1.12(20℃)
相対ガス密度： データなし
粒子特性： データなし

10. 安定性及び反応性

反応性： 情報なし
化学的安定性： 常温では安定。
危険有害反応可能性： 強酸化剤、強塩基と反応する。
避けるべき条件： 情報なし
混触危険物質： 強酸化剤、強塩基。
危険有害な分解生成物： 燃焼により刺激性又は有毒なガス（一酸化炭素）を発生する。

11. 有害性情報

混合物として： データなし
組成物情報：
【エチレングリコール】
急性毒性（経口） GHS分類： 区分に該当しない（区分外）
急性毒性（経皮） GHS分類： 区分に該当しない（区分外）
急性毒性（吸入：ガス） GHSの定義における液体である。
急性毒性（吸入：蒸気） データ不足のため分類できない。
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト） GHS分類： 区分4
皮膚腐食性／刺激性 GHS分類： 区分2
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 GHS分類： 区分2 B

安全データシート (SDS)

呼吸器感作性又は皮膚感作性	分類できない。
生殖細胞変異原性	分類できない。
発がん性	分類できない。
生殖毒性	分類できない。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 1 (中枢神経系、血液系、腎臓) 区分 3 (気道刺激性、麻酔作用)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できない。
誤えん有害性	データ不足のため分類できない。
【防錆剤、消泡剤、染料】	
急性毒性 (経口)	GHS分類: 区分に該当しない (区分外)
急性毒性 (経皮)	GHS分類: 区分に該当しない (区分外)
急性毒性 (吸入: ガス)	GHSの定義における液体である。
急性毒性 (吸入: 蒸気)	GHS分類: 区分に該当しない (区分外)
急性毒性 (吸入: 粉じん、ミスト)	GHS分類: 区分 4
皮膚腐食性/刺激性	分類できない。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	GHS分類: 区分 2
呼吸器感作性又は皮膚感作性	分類できない。
生殖細胞変異原性	分類できない。
発がん性	分類できない。
生殖毒性	区分 1 B
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 1 (中枢神経系、呼吸器、心臓、腎臓) 区分 2 (血液)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分 1 (中枢神経系、呼吸器、心臓) 区分 2 (血液)
誤えん有害性	データ不足のため分類できない。

1 2. 環境影響情報

組成物情報:

【エチレングリコール】

水生環境有害性 (短期/急性)

区分 3

水生環境有害性 (長期/慢性)

GHS分類: 区分に該当しない (区分外)

オゾン層への有害性

当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

【防錆剤、消泡剤、染料】

水生環境有害性 (短期/急性)

区分 3

水生環境有害性 (長期/慢性)

分類できない。

オゾン層への有害性

分類できない。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物:

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。

汚染容器及び包装:

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

1 4. 輸送上の注意

「7.取扱い及び保管上の注意」の項を参照のこと

国際規制:

国連番号:	非該当
国連品名:	非該当
国連分類:	非該当
容器等級:	—
海洋汚染物質:	非該当
MARPOL 73/78附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質:	

国内規制:

海上規制情報	消防法の規制に従う。
航空規制情報	船舶安全法に定めるところに従う。(非危険物)

安全データシート (SDS)

陸上規制情報

航空法に定めるところに従う。(非危険物)

輸送の特定の安全対策及び条件:

危険物は当該危険物が転落し、又は危険物を収納した運搬容器が落下し、転倒もしくは破損しないように積載すること。

危険物又は危険物を収納した容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬すること。

危険物の運搬中危険物が著しく漏れる等災害が発生するおそれがある場合には、災害を防止するための応急措置を講ずると共に、もよりの消防機関その他の関係機関に通報すること。

15. 適用法令

化審法	優先評価化学物質=エチレングリコール	
消防法	第四類第三石油類【水溶性液体】	
労働安全法	法57条(名称等を表示すべき有害物)	エチレングリコール
	法57条の2(名称等を通知すべき有害物)	エチレングリコール
	法57条の3(リスクアセスメントを実施すべき危険有害物)	エチレングリコール
	皮膚等障害化学物質等・皮膚吸収有害物質	エチレングリコール
	濃度基準値設定物質	エチレングリコール
毒物及び劇毒物取締法		非該当
化学物質排出把握管理促進法		非該当

16. その他の情報

備考:

1. 安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取扱う事業者提供されるものです。
取扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。
従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。

2. 本SDS、ラベルが取り扱い説明書に該当します。

[注意] 本SDSはJIS Z7253:2019 に準拠して作成しています。